

DHCPが有効な環境でバックホール通信を用いる場合

本製品を正しくご使用いただくために、本書の指示に従ってセットアップを完了してください。
詳細については、Webの説明書を合わせてご覧ください。

ご用意いただくもの

- 接続可能なインターネット回線
- 有線LANポート内蔵Windows10のパソコン
- LANケーブル 2本
- 紐づけるKPWL-0300H 2台以上

手順の確認

- STEP1 組み立てる
STEP2 起動・接続準備
STEP3 設定画面にアクセス
STEP4 アクセスポイント設定
STEP5 バックホールの設定(Core/Slave)
STEP6 バックホールの確認
STEP7 接続確認

本書は、バックホール通信用のクイックセットアップガイドです。
製品設置前に本設定を完了してください。

同梱品の確認

ご使用前に、以下のものがすべて揃っていることをご確認ください。
万一、欠品などがありましたら、お買い上げの販売店までご連絡ください。(別紙参照)

- | | | | |
|-----------------|----|----------------------------|----|
| □ KPWL-0300H 本体 | 1台 | □ 壁止め用アンカー | 4本 |
| □ ACケーブル | 1本 | □ アタッチメント取付用ねじ(セキュリティ対応ねじ) | 1本 |
| □ ACアダプタ | 1本 | □ アタッチメント取付用ねじ(プラスねじ) | 1本 |
| □ アンテナ △マーク | 4本 | □ クイックセットアップガイド通常編 | 1枚 |
| □ アンテナ ○マーク | 4本 | □ クイックセットアップガイド固定IP編 | 1枚 |
| □ 壁取付用アタッチメント | 1枚 | □ クイックセットアップガイドバックホール編(本紙) | 1枚 |
| □ 壁止め用ねじ | 4本 | | |

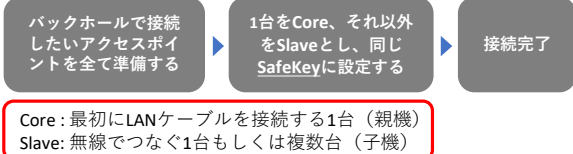
※以下文中ではKPWL-0300H 本体を「KPWL」とします

バックホール通信



例) 親機・子機の2台を設置することで最大400台の同時接続が可能

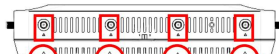
設定概要



STEP1 組み立てる

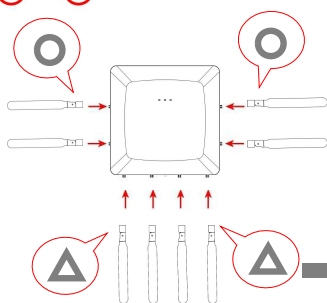
□ アンテナを取り付けます。

- ① 本体の側面左右に2本ずつ、○マークのアンテナを○マークのプラグに取り付けます。
- ② 本体側面に4本の△マークのアンテナを△マークのプラグに取り付けます。



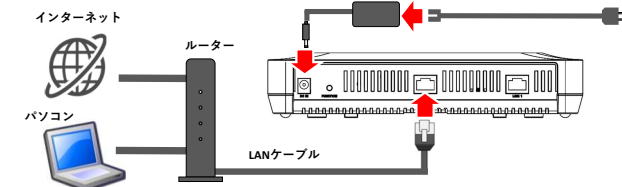
※ 壁取付の場合

同梱の壁取付用アタッチメント(銀色の金属プレート)を本体裏に取り付け、プレート突起部と側面(△マーク側)を付属のねじで固定してください。
同梱のセキュリティ対応ねじ、通常のプラスねじはどちらも使用可能ですので用途に合わせてお選びください。



STEP2 起動・接続準備

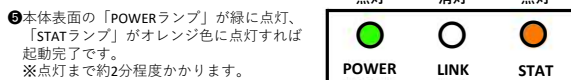
□ PC、電源に接続します。



- ① LANケーブルを本体側面の中心のLANポート「LINK2」に接続し、もう片側を通信機器(ルーター、HUB)のLANポートに接続します。
※パソコンも同じルーター配下に有線接続します。
- ② ACコード(プラグがついたコード)をACアダプタに接続します。
- ③ ACアダプタの差込口を本体側面の電源ポート「DC IN」に接続します。
- ④ ACコードのプラグをコンセントに挿します。



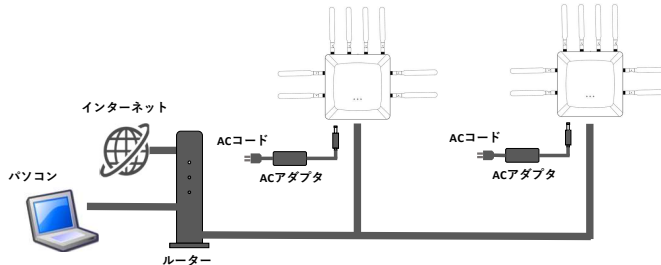
PoE対応の通信機器に接続した場合、すぐに自動的に電源が入りますが、IEEE802.3bt PoE++に対応していない場合は必ずACアダプタで電源に接続してください。
供給側機器を破壊する恐れがあります。
電源ボタンはありません。



- ⑤ 本体表面の「POWERランプ」が緑に点灯、「STATランプ」がオレンジ色に点灯すれば起動完了です。
※点灯まで約2分程度かかります。

STEP3 設定画面にアクセス

□ 紐づけるKPWLを同じルーター配下に設置し、設定画面にアクセスします。

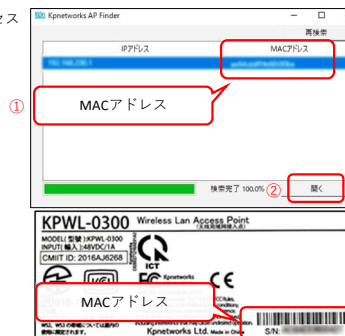


- ① Kpnetworksホームページ (<https://www.kpnetworks.jp/download/>) へアクセスします。
- ② 「ソフトウェア」ボタンをクリックし、「Kpnetworks AP Finder(製品自動検出・設定画面アクセスツール) Windows10アプリ版」の「Download」ボタンをクリックします。
- ③ ダウンロードしたファイルをダブルクリックすると、自動的にアクセスポイントの検出が始まります。

- ④ 検出が完了すると検出されたアクセスポイントが自動で表示されます。

- ① 検出されたアクセスポイントをクリックします。
- ② 「開く」をクリックします。

※該当製品か否かは、製品裏面のS/Nをご参照ください。
画面に表示されるMACアドレスと同等になります。



- ⑤ ユーザー名とパスワード両方に「admin」と入力し、「ログイン」をクリックします。

※推奨動作ブラウザはGoogle Chromeになります。



- ⑥ アクセスが完了し、WebUI設定画面が表示されます。

STEP4 アクセスポイント設定

□ アクセスポイントの設定をします。

- ① WebUIのメニュータブから「アクセスポイント」を選択します。



- ② 使用する無線モード(2.4GHz/5GHz)ごとに下記手順を実施します。

- ① 「基本設定」をクリックします。
- ② 「SSID1」欄に任意のSSIDを入力します。
※1~32文字の半角英数字
- ③ 「適用」をクリックします。
設定を適用するために製品が再起動します。



- ④ 「セキュリティ」をクリックします。
- ⑤ 「認証方法」のプルダウンから「WPA-PSK」を選択します。
- ⑥ 「Pre-sharedキー」欄に任意のパスワードを入力します。
※8~64文字の英数記号
- ⑦ 「適用」をクリックします。
設定を適用するために製品が再起動します。



STEP5 バックホールの設定(Core/Slave)

□ パソコンから「Core」のバックホール通信設定をします。

- ① 該当製品のWebUIにアクセスし、上部メニューから「ワイヤレスバックホール」を選択します。



続いてうら面のSTEP5 ②に進んでください。

STEPS バックホールの設定(Core/Slave)(つづき)

- 以下手順で設定を行います。
 - ①「基本設定」を選択します。
 - ②「Backhaul Mode」を「Core」(デフォルト)に設定します。
 - ③設置する場所が屋内か屋外かを選択します。
(屋内: Indoor, 屋外: Outdoor)
 - ④紐づける製品間との「SafeKey」を設定します。
※8～64文字までの半角英数字
 - ⑤「適用」をクリックします。

設定を適用するために製品が再起動します。



□ パソコンから「Slave」のバックホール通信設定をします。

- ③ 該当製品のWebUIにアクセスし、上部メニューから「ワイヤレスバックホール」を選択します。



- ④ 以下手順で設定を行います。
 - ①「基本設定」を選択します。
 - ②「Backhaul Mode」を「Slave」に変更します。
 - ③「帯域」の設定をCoreの設定に合わせます。
 - ④「SafeKey」をCoreの設定に合わせます。
※「SafeKey」がCoreと異なる場合、Core・Slave間で通信ができないのでご注意ください。
 - ⑤「適用」をクリックします。

設定を適用するために製品が再起動します。

「チャンネル」、「Indoor/Outdoor」、「チャンネル帯域幅」の設定はCore側の設定で動作します。



STEP6 バックホール通信の確認

□ パソコンからバックホール通信の確認をします。

- ① STEP5にて設定したSlaveに接続されているLANケーブルを外します。
- ② 設定後、Core、SlaveのLED点灯状態が、下記のように変わることを確認します。

もしLED点灯状態が変わらない場合、Core、Slaveの電源ケーブルを挿抜き、再起動してください。

■ Coreの場合



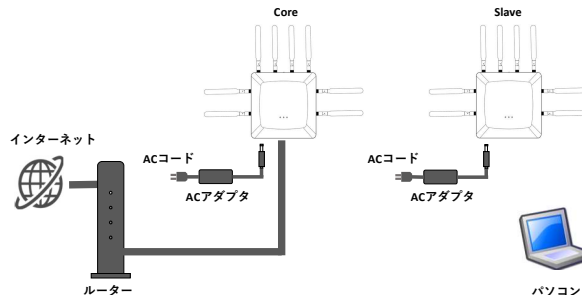
■ Slaveの場合



STEP7 接続確認

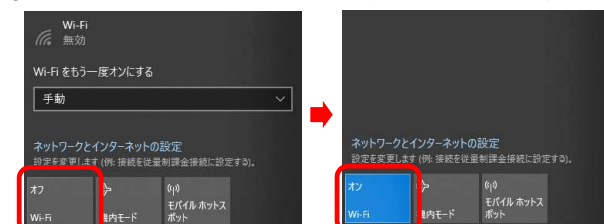
□ インターネットの接続確認をします。

- ① PCからLANケーブルを抜き、設定したSlaveの近くにパソコンを設置します。

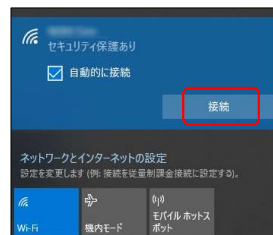


- ② PC画面右下のアイコン()をクリックします。

- ③ 左下のボタンを押下することでWi-Fiを一度オフにし、再度押下してオンします。



- ④ 設定したSSIDを選択し、「接続」をクリックします。



- ⑤ 「ネットワークセキュリティキーの入力」欄に、設定したPre-sharedキー(パスワード)を入力し、「次へ」ボタンをクリックします。接続完了すると「接続済み」と表示されます。



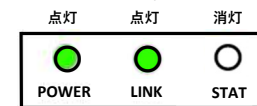
- ⑥ WEBブラウザを起動し、インターネットの接続を確認してください。

問題なくWEBページが表示されたら、設定は完了です。

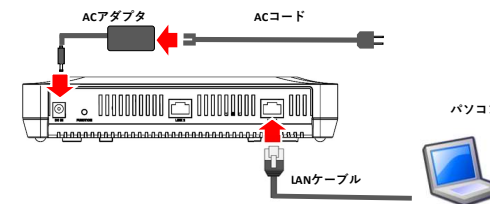
こんなときは？

- 「Kpnetworks AP Finder(製品自動検出・設定画面アクセスツール)Windows10アプリ版」でSlaveに設定したKPWLが検出されない。

- ① 本体表面の中央LED「LINK」ランプが点灯しており、Coreとリンク完了しているかを確認します。



- ② 本体側面の右側のLANポート「LINK1」とPCをLANケーブルで繋ぎます。



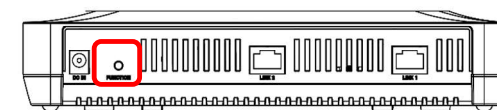
- ③ 1分後に再度「Kpnetworks AP Finder(製品自動検出・設定画面アクセスツール)Windows10アプリ版」を実行してください。

□ それでも見つからないときは

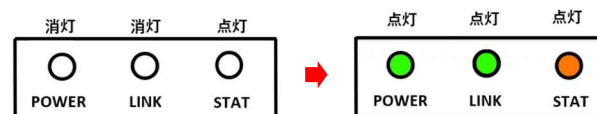
Kpnetworks HP→SUPPORTメニュー→取扱説明書メニューの「IPv6からのログイン方法手順書」
<https://kpnetworks.jp/IP/download/manual/IPv6.pdf> をご参照ください。

□ 工場出荷状態に戻したい。(初期化)

- ① 製品裏面の「FUNCTION」ボタンを10秒長押しします。



- ② ボタンを離すとすぐ(2～3秒後)、本体表面のLEDがすべて消灯し、その後すべて点灯します。



- ③ 約2分後、起動時と同じく「POWERランプ」が緑色に点灯し、「STATランプ」がオレンジ色に点灯すれば初期化完了です。

お問い合わせ先

□ メールでのお問い合わせ

✉ info@kpnetworks.jp

□ お電話でのお問い合わせ

☎ 029-846-0217